

中日コーチに 応急措置講習

読谷でMESH

【読谷】MESHサポートは1月28日、中日ドラゴンズのキャンプ開始を前に球団コーチらに読谷平和の森球場で救急講習を開いた。MESHの救命士や看護師5人がレクチャーした。

練習中の事故やけがに備え、頭部外傷例の応急処置やBLS（一次救命処置）の講習を行った。三つのブースに分かれ、呼吸の確認や頸椎の固定、背骨や首を損傷して

いる人を運ぶ救助器具「バックボード」の使用についてを指導し実践した。

MESHサポートの宮城元樹救命士は「野球選手は特殊なもので、どこまで救急の処置ができるかで選手生命に関わる」と話した。

中日ドラゴンズの北野一郎コンディショニングコーチは「救助器具は球場にそろっているが、使ったことがなかった。万一の時に対処できるよう普段実践できないことを使用経験のある方から学べた」と意義を話した。



頭部の固定化を実践する中日ドラゴンズのコーチら＝1月28日、読谷平和の森球場